

平成 28 年(2016 年)熊本県熊本地方を震源とする地震
非常災害対策本部会議(第 1 回)議事録

日時:平成28年4月14日(木)23:21~23:27

場所:官邸4階大会議室

1. 内閣総理大臣 発言

(内閣総理大臣)

- 現在、政府は総力を挙げて対応しているが、夜間で被害状況の全容がまだ明らかではない。被害が多数発生している恐れがあり、さらに次の3点を指示する。
 - ・ 国民の安全確保が第一、被害者の救命・救助を最優先に、引き続き、政府一丸となって災害応急対策に全力を尽くすこと。
 - ・ 余震が依然として相次いでいることから、地方自治体と緊密に連携して、細心の注意を払って警戒を継続し、住民の避難が確実に行われるよう、対策に万全を期すこと。
 - ・ 被災自治体と連携し、必要な物資の確保や医療行為の提供等、被災者の支援策に関係機関が一体となって取り組むこと。
- 各位にあっては強いリーダーシップを発揮し、対応に万全を期されたい。

2. 被害状況及び各省庁の対応状況について

(内閣官房副長官補)

- 気象庁から、地震の震源が深さ約11km、マグニチュード6.5に修正されたとの話があった。政府の対応については、先ほどまで緊急参集チームを継続的に行っている。

(内閣府防災担当)

- 23時現在、現地からの情報で、火災が1件発生、ガス漏れ多数、80代の女性が家屋の下敷きになっているとの情報。益城町から国道447号の法面崩壊の情報を聞いている。

(総務大臣)

- 緊急消防援助隊について、熊本県知事から22時5分に消防庁長官に対して出動要請があった。
- かなり通信が途絶していたが、さきほど、通信が回復したとのこと。確認できている情報として、火災1件、行方不明3名。
- 明日の朝、リエゾンを消防庁から熊本県、熊本市にそれぞれ2名派遣することとしている。

(防衛大臣)

- 22時19分、第8偵察隊(北熊本)が、益城町に出発。
- 22時42分、第42普通科連隊(北熊本)も出発。
- 現在、益城町に向けて、偵察先行要員3名が向かっている。

(国家公安委員長)

- 益城町を管轄する御船署とは連絡が取れている。
- 22時25分現在110番が約300件、倒壊家屋17件。

(防災担当大臣)

- 被害情報の収集の徹底をお願いする。
- 救援・救難に全力を挙げてほしい。
- 松本防災担当副大臣をヘッドとする政府調査団を準備中。

以上